

皆さま、こんにちは。
府中教会、アンドレアです。

本日の福音箇所は、信仰の歩みの特徴を明らかにしています。そこには一つの信仰の歩みが描かれていますが、それこそが、わたしたちを含むすべての時代の弟子の歩みです。その歩みは、二人の弟子が洗礼者ヨハネに促されて、イエスに尋ねた質問から始まります。そして彼らはイエスに従い始めます。「何を求めているのか」(38節)。イエスはこれと同じ質問を、復活した朝にマグダラのマリアに尋ねます。「婦人よ、だれを探しているのか」(ヨハネ 20章 15節)。人間であるわたしたちは皆、探し求めます。幸せを求め、愛を求め、善良で充実した生活を探し求めます。

わたしたちは多くのことを体験し、多くのことを成し遂げ、多くの人とかかわりますが、人生に完全な意味を与え、わたしたちの計画や取り組みを実り豊かなものにすることができるのは、イエスとの出会いと信じます。

この新しい年の中で、わたしたちは新たにイエスとともに信仰の歩みを続けたいと望んでいるのではないのでしょうか。この歩みにおいて、わたしたちは、絶えずイエスを求め、イエスと出会う喜びを味わいます。実際、ほんとうの意味での喜びは、イエスと関わることによって与えられます。イエスと関わることは、いつも思いと心を研ぎ澄ますことによって、イエスと出会い、イエスに従い、イエスを知り、イエスを愛することです。

